

赤穂市告示第 4 4 号

地方公営企業に係る令和 6 年度下半期業務状況説明書について

赤穂市病院事業の設置等に関する条例（平成 1 8 年赤穂市条例第 3 0 号）第 1 1 条及び赤穂市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例（平成 3 0 年赤穂市条例第 2 8 号）第 1 0 条の規定に基づき、令和 6 年度下半期業務状況説明書を次のとおり公表する。

令和 7 年 6 月 1 3 日

赤穂市長 牟 禮 正 稔

令和6年度下半期

赤穂市病院事業業務状況説明書

赤 穂 市 民 病 院

I 病院事業

1 利用患者数の状況

令和6年10月1日から令和7年3月31日までの利用患者状況は別表のとおりで、1日平均患者数は、入院205.0人、外来564.6人、診療所外来22.8人となっています。

これを前年同期と比較すると、入院12.0人、外来26.2人、診療所外来2.9人がそれぞれ減少となっています。

2 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は4,358,452,260円で、前年度と比較して114,467,452円増収となっています。

ア 病院医業収益

病院医業収益は、前年度より365,226,439円(9.6%)減の3,458,291,908円となっています。

この内訳は、入院収益	131,219,260円	(5.8%) 減収
外来収益	100,521,919円	(8.6%) 減収
その他医業収益	133,485,260円	(34.8%) 減収

であり、入院患者数及び外来患者数の減少並びに新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金等の減少が主な要因となっています。

イ 医業外収益

医業外収益は、前年度より494,430,065円(141.7%)増の843,305,393円で、一般会計負担金の増額が主な要因となっています。

(2) 費用

総費用は5,148,377,631円で、前年度と比較して161,062,356円(3.0%)減少となっています。

この内訳は、病院医業費用	140,420,254円	(2.9%) 減少
医業外費用	32,174,013円	(8.2%) 減少

であり、病院医業費用においては、材料費、減価償却費及び経費の減少が主な要因で、医業外費用においては、支払利息及び雑支出の減少が主な要因となっています。

この結果、下半期の損益収支の状況は、789,925,371円の純損失(前年度純損失1,065,455,179円)となっています。

利用患者統計

1. 病院

令和6年10月～令和7年3月

区分	入				院				外			
	延患者数 (人)		比較		一日平均患者数 (人)		比較		延患者数 (人)		比較	
	R6	R5	△	△	R6	R5	△	△	R6	R5	△	△
内科	10,587	7,632	2,955	△	58.2	41.7	16.5	△	14,436	14,596	△ 160	△ 122.7
呼吸器科	0	2,070	△ 2,070	△	0.0	11.3	△ 11.3	△	1,656	2,742	△ 1,086	△ 23.1
消化器内科	8,261	7,746	515	△	45.4	42.3	3.1	△	9,546	10,082	△ 536	△ 84.7
循環器科	5,078	6,631	△ 1,553	△	27.9	36.2	△ 8.3	△	6,236	6,383	△ 147	△ 53.6
外科	2,369	2,798	△ 429	△	13.0	15.3	△ 2.3	△	3,013	3,366	△ 353	△ 28.3
小児科	118	210	△ 92	△	0.6	1.2	△ 0.6	△	1,744	1,953	△ 209	△ 16.4
眼科	60	54	6	△	0.3	0.3	0.0	△	2,446	2,094	352	17.6
耳鼻咽喉科	355	484	△ 129	△	2.0	2.7	△ 0.7	△	2,689	2,663	26	22.4
産婦人科	0	0	0	△	0.0	0.0	0.0	△	2,011	1,910	101	16.1
皮膚科	194	135	59	△	1.1	0.7	0.4	△	3,096	3,240	△ 144	27.2
整形外科	7,783	7,542	241	△	42.8	41.2	1.6	△	5,619	6,061	△ 442	50.9
泌尿器科	822	1,663	△ 841	△	4.5	9.1	△ 4.6	△	4,087	4,335	△ 248	36.4
脳神経外科	1,192	1,517	△ 325	△	6.5	8.3	△ 1.8	△	1,838	1,946	△ 108	16.4
放射線科	0	0	0	△	0.0	0.0	0.0	△	792	864	△ 72	7.3
麻酔科	4	0	4	△	0.0	0.0	0.0	△	738	718	20	6.0
形成外科	0	0	0	△	0.0	0.0	0.0	△	481	514	△ 33	4.3
乳腺外科	120	260	△ 140	△	0.7	1.4	△ 0.7	△	812	817	△ 5	6.9
心療内科	0	0	0	△	0.0	0.0	0.0	△	1,235	1,229	6	10.4
精神科	0	0	0	△	0.0	0.0	0.0	△	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	345	410	△ 65	△	1.9	2.2	△ 0.3	△	2,299	2,003	296	19.3
心臓血管外科	17	544	△ 527	△	0.1	3.0	△ 2.9	△	392	562	△ 170	4.7
救急科	5	9	△ 4	△	0.0	0.1	△ 0.1	△	2,017	2,229	△ 212	17.0
計	37,310	39,705	△ 2,395	△	205.0	217.0	△ 12.0	△	67,183	70,307	△ 3,124	564.6
												△ 26.2

診療日数

2. 診療所

区分	延患者数 (人)				一日平均患者数 (人)			
	延患者数 (人)		比較		一日平均患者数 (人)		比較	
	R6	R5	△	△	R6	R5	△	△
西部	168	164	4	△	4.7	4.8	△ 0.1	△
高雄	256	308	△ 52	△	6.2	7.7	△ 1.5	△
福岡	418	448	△ 30	△	11.9	13.2	△ 1.3	△
有年	842	920	△ 78	△	22.8	25.7	△ 2.9	△
計								

赤穂市病院事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	10,516,245,777	固定負債	6,001,451,469
有形固定資産	10,282,929,987	企業債	4,281,811,937
無形固定資産	2,159,600	他会計借入金	400,000,000
投資その他の資産	231,156,190	引当金	1,319,639,532
流動資産	1,485,676,768	流動負債	2,938,066,039
現金預金	371,137,258	企業債	1,234,183,495
未収金	1,077,734,663	一時借入金	700,000,000
貯蔵品	34,783,809	未払金	692,282,941
その他流動資産	2,021,038	引当金	261,042,796
		その他流動負債	50,556,807
		繰延収益	234,809,708
		長期前受金	234,809,708
		資本金	10,221,297,404
		資本金	10,221,297,404
		剰余金	△ 7,393,702,075
		資本剰余金	27,618,500
		利益剰余金	△ 7,421,320,575
合 計	12,001,922,545	合 計	12,001,922,545

赤穂市病院事業損益計算書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院医業費用	4,670,357,488	病院医業収益	3,458,291,908
給与費	2,417,230,366	入院収益	2,138,755,976
材料費	855,111,687	外来収益	1,069,778,215
減価償却費	282,410,496	その他医業収益	249,757,717
その他の経費	1,115,604,939	診療所医業収益	6,334,973
診療所医業費用	22,552,791	訪問看護ステーション収益	42,663,394
給与費	15,871,704	医業外収益	843,305,393
材料費	540,932	院内託児所収益	7,207,669
減価償却費	505,755	特別利益	648,923
その他の経費	5,634,400	当期純損失	789,925,371
訪問看護ステーション費	63,341,646		
医業外費用	361,566,186		
支払利息	26,140,296		
その他医業外費用	335,425,890		
院内託児所費	28,190,092		
特別損失	2,369,428		
合 計	5,148,377,631	合 計	5,148,377,631

Ⅱ介護老人保健施設事業

1. 利用者数の状況

令和6年10月1日から令和7年3月31日までの入所者・通所者の利用状況は別表のとおりで、1日平均利用者は、入所47.7人、通所25.1人となっています。

これを前年度同期と比較すると入所で1.4人の増加、通所で0.6人の増加となっています。

2. 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は、148,572,792円で、前年度と比較して 53,074,521円の減収となっております。

この内訳は、事業収益	3,446,440円	(2.4%) 増収
事業外収益	△56,506,117円	(95.2%) 減収
特別利益	△14,844円	(皆減) 減収

であり、入所収益等の増により事業収益は増収となったものの、一般会計補助金の減により事業外収益が減収となったことが主な要因となっています。

(2) 費用

下半期の総費用は、219,786,485円で、前年度と比較して 19,890,113円増加しています。

この内訳は、事業費用	13,650,933円	(6.9%) 増加
事業外費用	6,239,180円	(211.7%) 増加

であり、事業費用においては、給与費の増による増加、また、事業外費用においては、消費税処理に伴う雑支出の増が主な増加要因となっています。

この結果、下半期の損益収支の状況は、71,213,693円の純損失（前年同期純利益1,750,941円）となっています。

利用者統計

令和6年10月～令和7年3月
(単位-人)

介護老人保健施設

区 分	入 所						区 分	通 所					
	入 所 者 数			一 日 平 均 入 所 者 数				通 所 者 数			一 日 平 均 通 所 者 数		
	R 6	R 5	比 較	R 6	R 5	比 較		R 6	R 5	比 較	R 6	R 5	比 較
長 期	8,111	7,752	359	44.6	42.4	2.2	通所リハ	2,378	2,453	△ 75	21.6	22.3	△ 0.7
短 期	574	726	△ 152	3.1	3.9	△ 0.8	予防リハ	229	242	△ 13	2.1	2.2	△ 0.1
予防短期	0	0	0	0.0	0.0	0.0	通所C型	149	—	皆増	1.4	—	皆増
計	8,685	8,478	207	47.7	46.3	1.4	計	2,756	2,695	61	25.1	24.5	0.6

療養・リハビリ日数

区分	R6	R5
長期	182	183
短期	182	183
通所リハビリ	110	110
介護予防通所リハビリ	110	110
介護通所C型	110	—

赤穂市介護老人保健施設事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位＝円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	744,074,147	固定負債	258,353,180
有形固定資産	744,074,147	企業債	248,731,169
流動資産	82,143,509	リース債務	2,213,970
現金預金	42,206,428	引当金	7,408,041
未収金	39,937,081	流動負債	140,235,622
		企業債	63,898,690
		一時借入金	30,000,000
		リース債務	2,911,260
		未払金	26,658,591
		引当金	16,209,441
		預り金	557,640
		繰延収益	14,404,585
		長期前受金	41,179,530
		収益化累計額	△ 26,774,945
		資本金	854,129,657
		資本金	854,129,657
		剰余金	△ 440,905,388
		利益剰余金	△ 440,905,388
合 計	826,217,656	合 計	826,217,656

赤穂市介護老人保健施設事業損益計算書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位＝円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費用	210,599,597	事業収益	145,747,020
給与費	137,426,140	入所収益	96,746,000
材料費	12,474,392	通所収益	26,547,095
減価償却費	16,720,087	その他事業収益	22,453,925
その他の経費	43,978,978	事業外収益	2,840,616
事業外費用	9,186,888	特別利益	△ 14,844
特別損失	0	当期純損失	71,213,693
合 計	219,786,485	合 計	219,786,485

令和6年度下半期

赤穂市水道事業業務状況説明書

赤 穂 市

令和6年度下半期赤穂市水道事業業務報告状況説明書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

1 給水の状況

令和6年10月1日から令和7年3月31日までの給水の状況は別表のとおりで、給水件数23,066件、配水量6,162,189 m³、有収水量5,845,207 m³となっています。これを前年同期と比較すると、給水件数で65件増加、配水量で228,031 m³の増加、有収水量で132,867 m³の増加となっています。

2 建設改良費の状況

(1) 原水施設改良事業

取水施設におけるポンプ取替工事等や、次年度以降の事業実施に向けた調査・設計業務を行いました。また、令和6年度から令和7年度までの債務負担行為事業として原水源地紫外線処理設備工事を実施しているところです。

(2) 配水施設改良事業

有年地区や御崎地区において配水管布設工事等を行ったほか、経年劣化した水道管を更新するために必要となる大津配水管布設替詳細設計等を行いました。

3 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は477,708,838円で、前年度と比較して38,804,087円(7.5%)減少しています。これは、営業外収益のうち一般会計補助金が減少したことが主な要因です。

(2) 費用

下半期の総費用は541,969,149円で、前年度と比較して17,778,918円(3.4%)増加しています。これは、営業費用において委託料や工事請負費が増加したことが主な要因です。

この結果、下半期の損益収支の状況は、64,260,311円の純損失(前年同期純損失7,677,306円)となっています。

業 務 量

区 分		本年度 下半期	前年度 下半期	比 較	
				増 減	比率 %
給水人口 (人)		43,874	44,564	△ 690	△ 1.5
給水件数 (件)		23,066	23,001	65	0.3
総配水量 (m³)		6,162,189	5,934,158	228,031	3.8
内 訳	有収水量(m³)	5,845,207	5,712,340	132,867	2.3
	無収水量(m³)	15,745	20,569	△ 4,824	△ 23.5
	無効水量(m³)	301,237	201,249	99,988	49.7
有収水量率 (%)		94.9	96.3	△ 1.4	△ 1.5
一日最大配水量(m³)		1/22 39,844	1/11 37,755	2,089	5.5
一日平均配水量(m³)		33,858	32,605	1,253	3.8

損益収支状況

区 分		本年度下半期		前年度下半期		比 較	
		金 額 (円)	構成比	金 額 (円)	構成比	増減額 (円)	比率 %
収 益	営業収益	407,745,922	87.6	452,232,553	87.6	△ 44,486,631	△ 9.8
	営業外収益	69,962,916	12.4	64,280,372	12.4	5,682,544	8.8
	特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
	計	477,708,838	100.0	516,512,925	100.0	△ 38,804,087	△ 7.5
費 用	営業費用	522,961,072	95.4	500,267,284	95.4	22,693,788	4.5
	営業外費用	19,008,077	4.6	23,922,947	4.6	△ 4,914,870	△ 20.5
	特別損失	0	0.0	0	0.0	0	—
	計	541,969,149	100.0	524,190,231	100.0	17,778,918	3.4
損 益	営業損益	△ 115,215,150		△ 48,034,731		△ 67,180,419	
	営業外損益	50,954,839		40,357,425		10,597,414	
	特別損益	0		0		0	
	計	△ 64,260,311		△ 7,677,306		△ 56,583,005	
営業収益／営業費用		78.0%		90.4%			
収 益／費 用		88.1%		98.5%			

赤穂市水道事業貸借対照表
(令和7年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	10,396,083,590	固定負債	3,393,494,388
有形固定資産	10,060,865,699	企業債	2,985,519,053
無形固定資産	16,571,135	開発負担金	327,546,756
投資その他の資産	318,646,756	引当金	79,928,579
流動資産	1,822,077,109	その他固定負債	500,000
現金預金	1,557,326,235	流動負債	487,901,083
未収金	53,741,657	企業債	141,983,902
前払金	152,025,600	未払金	204,758,713
貯蔵品	7,909,925	前受金	23,015
その他流動資産	51,073,692	引当金	16,485,320
		預り金	73,576,441
		その他流動負債	51,073,692
		繰延収益	2,130,416,454
		長期前受金	2,130,416,454
		資本金	5,982,669,047
		資本金	5,982,669,047
		剰余金	223,679,727
		資本剰余金	17,688,401
		利益剰余金	205,991,326
合 計	12,218,160,699	合 計	12,218,160,699

赤穂市水道事業損益計算書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	522,961,072	営業収益	407,745,922
原水及び浄水費	124,374,027	給水収益	383,604,190
配水及び給水費	115,783,153	受託等業務収益	23,379,232
受託等業務費	9,304,079	その他営業収益	762,500
総係費	52,992,769	営業外収益	69,962,916
減価償却費	217,685,096	受取利息配当金	1,132,796
資産減耗費	2,821,948	加入者負担金	8,453,000
営業外費用	19,008,077	長期前受金戻入	56,285,144
支払利息	11,838,831	雑収益	4,091,976
雑支出	7,169,246	特別利益	0
特別損失	0		
下半期純利益	△ 64,260,311		
合 計	477,708,838	合 計	477,708,838

令和6年度下半期

赤穂市下水道事業業務状況説明書

赤 穂 市

令和6年度下半期赤穂市下水道事業業務状況説明書
(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

1 汚水処理の状況

令和6年10月1日から令和7年3月31日までの汚水処理の状況は別表のとおりで、処理件数65,487件、汚水処理量2,865,464 m^3 、有収水量2,675,662 m^3 となっています。

これを前年同期と比較すると、処理件数で408件の増加、汚水処理量で54,780 m^3 の減少、有収水量で34,232 m^3 減少となっています。

2 建設改良の状況

(1) 管渠建設改良費

国道2号線相生有年道路整備の進捗に合わせ、黒尾地区污水管移設工事を実施しました。なお、御崎地区雨水渠整備工事については、一部を次年度に繰越しで引き続き整備を進めます。

(2) ポンプ場建設改良費

周世・有年原地区におけるマンホール中継ポンプ場機械電気設備工事及び周世・南野中・清水谷污水中継ポンプ場における機械電気設備工事を実施しました。また、委託業務として、浜田中継ポンプ場耐震診断業務委託を次年度に繰越しで実施し、必要な対策の検討を行います。

(3) 処理場建設改良費

下水管理センターにおける汚水処理施設電気設備工事を実施しました。また、委託業務として、長期的な視点で最適な下水道施設管理を行うため、下水道ストックマネジメント計画策定業務委託を行いました。なお、下水道施設の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行う、官民連携事業導入可能性調査業務委託を次年度に繰越しで実施します。

3 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は899,102,824円で、前年度と比較して5,003,747円(0.6%)増加しています。これは、繰入金の配分を見直したことによる営業収益の増加が主な要因です。

(2) 費用

下半期の総費用は1,099,724,976円で、前年度と比較して21,037,040円(2.0%)増加しています。これは、エネルギーコストの上昇による動力費の増や、資材価格、賃金上昇に伴う施設等の管理委託料の増など営業費用の増加が主な要因です。

この結果、下半期の損益収支の状況は、200,622,152円の純損失(前年同期純損失184,588,859円)となっています。

業 務 量

区 分		本年度 下半期	前年度 下半期	比 較	
				増 減	比率 %
処理人口 (人)		43,874	44,564	△ 690	△ 1.5
件数 (件)		65,487	65,079	408	0.6
総汚水量 (m³)		2,865,464	2,920,244	△ 54,780	△ 1.9
内 訳	有収水量(m³)	2,675,562	2,709,794	△ 34,232	△ 1.3
	無収水量(m³)	3,895	5,442	△ 1,547	△ 28.4
	不明水量(m³)	186,007	205,008	△ 19,001	△ 9.3
有収水量率 (%)		93.4	92.8	0.6	0.6
晴天時最大処理量(m³)		6/2,7/5 22,526	6/5,7/16 22,422	1,467	7.0
一日平均処理量(m³)		17,810	17,835	△ 25	△ 0.1

損益収支状況

区 分		本年度下半期		前年度下半期		比 較	
		金 額 (円)	構成比	金 額 (円)	構成比	増減額 (円)	比率 %
収 益	営業収益	459,516,551	51.1	456,873,413	51.1	2,643,138	0.6
	営業外収益	439,586,273	48.9	437,225,664	48.9	2,360,609	0.5
	特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
	計	899,102,824	100.0	894,099,077	100.0	5,003,747	0.6
費 用	営業費用	1,046,304,708	95.1	1,018,187,566	94.4	28,117,142	2.8
	営業外費用	51,144,468	4.7	60,490,690	5.6	△ 9,346,222	△ 15.5
	特別損失	2,275,800	0.2	9,680	0.0	2,266,120	23,410.3
	計	1,099,724,976	100.0	1,078,687,936	100.0	21,037,040	2.0
損 益	営業損益	△ 586,788,157		△ 561,314,153		△ 25,474,004	
	営業外損益	388,441,805		376,734,974		11,706,831	
	特別損益	△ 2,275,800		△ 9,680		△ 2,266,120	
	計	△ 200,622,152		△ 184,588,859		△ 16,033,293	
営業収益／営業費用		43.9%		44.9%			
収 益／費 用		81.8%		82.9%			

赤穂市下水道事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	28,129,004,222	固定負債	9,497,216,150
有形固定資産	28,126,994,576	企業債	9,417,216,150
無形固定資産	2,009,646	他会計借入金	80,000,000
流動資産	516,815,127	流動負債	2,178,785,893
現金預金	321,577,821	企業債	1,840,630,874
未収金	173,349,002	他会計借入金	20,000,000
前払い金	21,838,304	引当金	8,170,582
その他流動資産	50,000	預り金	561,802
繰延勘定	0	その他流動負債	309,422,635
		繰延収益	12,315,899,001
		長期前受金	12,315,899,001
		資本金	5,040,489,254
		資本金	5,040,489,254
		剰余金	△ 386,570,949
		資本剰余金	840,487,683
		利益剰余金	△ 1,227,058,632
合 計	28,645,819,349	合 計	28,645,819,349

赤穂市下水道事業損益計算書

(令和6年10月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,046,304,708	営業収益	459,516,551
管渠費	16,814,072	下水道使用料収益	387,423,551
ポンプ場費	65,314,517	受託等業務収益	37,268,000
処理場費	193,663,306	他会計負担金	34,685,000
受託等業務費	20,603,170	その他営業収益	140,000
総係費	38,680,882		
減価償却費	702,688,625		
資産減耗費	8,540,136		
営業外費用	51,144,468	営業外収益	439,586,273
支払利息	44,942,291	他会計補助金	50,904,000
雑支出	6,202,177	長期前受金戻入	388,635,127
		雑収益	47,104
		受取利息及び配当金	42
特別損失	2,275,800	特別利益	0
下半期純利益	△ 200,622,152		
合 計	899,102,824	合 計	899,102,824